

山田 勉 議員 … 2 件の一般質問

給食センター建設に伴う隣接遊休農地の利用は

町長：市民農園として前向きに検討していく

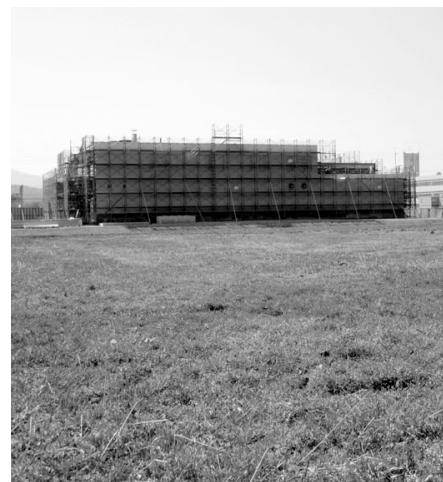


山田 学校給食センター
建てかえでの用地
確定には十分な準備がさ
れない中、隣接町有地が
ありながら民地を求め
る結果となり、農地を遊
休化させた。

農業委員会ではパト
ロールを実施しており、
行政の立場として相反す
る結果をもたらしている。
この要因をつくった教育
行政の取り組み方には、
多数の町民の声が聞か
れており疑問を感じてい
る。

国の補助金がなくなり、
道からの支援で地産地消
食育推進施設として助成
金が予算計上されている。
地方創生にもつながる活
動の一つとして、町民の
自家野菜生産を通しての
コミュニケーションの場
食を育てる学びの場とし
て展開するなどの取り組
みについて伺う。
教育長にも食に対する
考え方を伺う。

町長 市民農園は、農業
の触れ合い、安ら
ぎ推進や児童生徒の体験
学習などのさまざまな目
的、小面積の農地を利



学校給食センター隣接の農地

用して野菜を育てる為の
農園であり、耕作放棄地
解消のため、開設運営さ
れている農園が多く、管
内でも5市町村、岩内町
と余市町は、町が開設者
として運営している。
市民農園を開設するに
は、市民農園整備促進法
特定農地貸付法、農園利
用方式の3つの方法があ
り、道内の6割が比較的
活用しやすい特定農地貸
付法に基づき開設してい
る。

本町は、国や道の出先
機関もあり転勤族も多く、
また以前に行っていた枝
豆オーナー園も毎年たく
さんの参加者がいたこと
から、市民農園の開設を
希望する町民は多いだろ
うと考えている。開設に

は所有者からの所有権、
もしくは使用する権利の
取得が必要。さらに収納
休憩、トイレ等は簡易な
ものでも最低限必要な施
設であり、運営に当たっ
ては、管理人の配置に必
要な人件費、光熱水費等、
開設や運営に要する費用
を算出するなど、前向き
に検討していく。

教育長 学校給食センター
の建設に係る補助
金等については、国によ
る交付基準の変更で平成
27年4月、該当しないこ
ととなり、その後、道及
び振興局と協議を行った
結果、北海道地域づくり
総合交付金の補助メ
ニューの1つである地産
地消食育推進事業のハ

下事業での採択が決定し、
地産地消と食育推進を今
後、さらに進めていかな
ければならないと考えて
おり、町長から隣接農地
を市民農園として前向き
に検討を進めるとの考え
が示されているので、教
育委員会としても食育に
関する生きた教材として
有効に活用できるように学
校や町長部局とも連携・
協力しながら取り組んで
いきたい。

山田 市民農園にするに
は土地改良が必要
になると思うが考えを伺
う。

町長 水田地帯だったと
いうことで、もし
利用する場合については
土地改良等、事業ででき
るのか、調査をしながら
前向きに対応していきたい。

山田 施設の水や生ごみ
を利用した循環型
の取り組みは。

町長 今後鋭意努力して
まいりたい。

山田 教育行政の中で使
われているお金は
すごく大きい。町民の目
線が投じられている。
もっと深い気持ちで物事
を取り組んでもらいたい。

道の駅について

山田 新幹線に続き高速
道路も具体的に話
が進行している今、町長
はまちづくり懇談会の折
に倶知安はスーパーと連
携して広めていきたいと
話している。見解を伺う。

町長 全道の道の駅で黒
字経営は2、3駅
程度で、スーパーの地産
地消コーナーを有効活用
していく方が現実的と考
える。富良野マルシェを
参考にしながらまちの駅
「ぶらっと」を拡大して
取り組む方がふさわしい
と考えている。

今後、町民の意向を懇
談会やアンケート等工夫
して、意見を取り寄せる
中で検討していく。